



北のミサイルには驚かされましたね

十月四日朝の「Jアラート」には驚かされました。結局、ミサイルは日本上空を四千六百キロ飛び、太平洋の日本のEEZ外に落下。ミサイルをテストするのならば墜ちる場所を示し安全を確保すべきだが、北は一顧もせず。ミサイル発射禁止の国連決議も無視。ここで大問題と「敵基地攻撃能力を」と叫ぶと喜ぶのは軍需産業。それより朝鮮半島を平和にすることが大切。

現状は「休戦中」

一九五〇年にスターリンの支援で、北朝鮮軍が南に侵略。朝鮮戦争となった。激戦の末、一九五三年に休戦協定締結。「休戦」だから今も戦争中。今、必要な事は「休戦協定」を「平和条約」に進めること。その交

渉をするよう日本は働きかけるべきだ。
日本も北と国交を

一九六五年に日本の佐藤栄作政権と韓国政府の朴正熙政権が結んだ「日韓基本条約」は「大韓民国政府が朝鮮の唯一の合法的政府」とした。しかし、一九九一年、国連は南北両政権を合法と認め、同時に国連加盟を認めた。日韓基本条約を改め北も合法政府として国交を開くべきではないか。拉致問題、日本の植民地支配に対する補償、慰安婦等の補償問題があるが、解決するまで交渉を続けよう。こうして平和になると武器が売れない。米日の死の商人は軍需産業の抵抗こそ排すべきでは？
あなたはどうか思われますか？

山の夜明け

長野県北安曇郡小谷村

梅池ヒュッテから
二〇二二年九月



梅池自然園の入口前に立つと、太陽が稜線から昇るのを眺めることがでる。遠くの大きな山容は浅間山。この時には噴煙はなかったが、午後には噴煙が見えた。その左、稜線の上には三角形の頭を出しているのは菅平の根子岳。標高千八百mの梅池から観ると谷間には雲の海が拡がる。下界にいたら「曇り」と云う所だろう。雲が切れれば、田んぼが見える。稲刈り前の田には黄色く色づいた稲穂が見える。薄茶色なのは稲刈り済みの田んぼ。

絵の中央の緑の尾根は「馬の背」。こちらから向こう側に緩やかな登り。スキーの時期にはここを上り、その先の急斜面をスラロームしながら楽しむ。

